

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 13日

事業所名 みずきキッズクラブ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準以上のスペースを確保しています。支援の状況によって環境を整備しながら実施しています。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準以上の配置をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			スロープや段差をなくす等、施設内外でバリアフリーになるようにしています。安全性に配慮し、障がい特性に応じ環境調整を意識しながらサービスを提供していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日支援後に清掃を実施しています。感染対策を心がけ、常に清潔な環境で気持ちよく過ごせるよう留意しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			月1回の全体カンファレンスを実施し、それ以外にも必要時に会議を設けています。目標の設定、振り返りを行い改善に繋げるように心がけていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎年アンケート調査を定期的実施するとともに、皆様から得た意見を尊重し、改善と資質の向上に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自己評価及び保護者向け評価の集計結果を踏まえ、事業所内で共有し、より良い支援ができるよう話し合いを持ち資質の向上に努めています。また集計結果については保護者様への配布及びHPで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	現在、第三者評価は受けていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			外部、内部研修に参加させて頂き、資質の向上に努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			利用者様、保護者様とのアセスメントを実施し、希望や課題を聞き取り計画書に反映し作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			vineland-ii適応行動尺度ではなく、その他のツールを用いています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			ガイドラインの基本活動を意識し、楽しみながら日常生活動作やルール、個別や集団活動などを学べるように活動を実施しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			個別支援計画書を職員間で共有し、計画に沿って支援を行っています。また、日々の活動の中で感じた支援についても共有しながら進めさせて頂いています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			子ども達が楽しく、様々な体験、経験ができるようにプログラムの立案を実施しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			個々の状況と課題を意識しながら、個別・集団活動を行っています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			子ども達の状況に合わせて集団及び個別の課題を盛り込み作成させて頂いています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			ミーティングを毎朝実施し、全体での共有・周知しておきたい事を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		終了後全員での振り返りは難しい為、支援前にミーティングを実施し全体で共有・周知しておきたい事を確認しています。他、必要時に随時話し合いを持ちながら取り組んでいます。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々サービス提供記録及び業務日誌を作成し、振り返り、支援の改善等に繋がられるようにしています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的なモニタリングと随時見直しを行い、目標の達成度を評価して見直しを図るようにしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者及び必要時には担当者も参加し、連携した支援ができるようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			市の子育て支援課、保健師、教育委員会等との繋がりを持ち、会議等を開催しながら連携した支援ができるよう参加しております。また、実際に活動している場面等も見学して頂きながら共有できるよう取り組んでいます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	/	現在該当する利用者様はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	/	現在該当する利用者様はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			必要に応じて情報交換等を実施させて頂いています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			開設1年という事もあり現在実績はありませんが、これから小学校等に進学するにあたり必要時には情報共有機会が必要だと思っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		これから専門職員派遣研修等があれば積極的に研修を実施していきたいと検討しています。西村山郡の自立支援協議会へ参加し、情報共有や研修、連携をしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		併用している利用者様が多い為、あえて機会は設定はしていませんが、社会資源活用時に他児との交流を持ち活動する機会を多く持つよう心がけています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			会議や情報交換する機会が設定されている為、都度必ず参加するよう努めています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳で写真を添えて日々のサービス提供記録を発信しています。また職員からのコメントを添え状況をお伝えし、送迎時に口頭でも情報共有をさせて頂いています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている			○	現段階ではトレーニングとしては実施していません。モニタリング時等に相談があれば助言をする程度になります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明し、それ以外に質問や相談があった場合には都度説明させて頂いています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ご家族様へ丁寧な説明をし、同意を得るよう心がけています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			モニタリングやその他相談された際に助言等させて頂いています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	現段階では実施していません。今後、保護者様同士の交流の場を設ける事ができればと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している			○	ご相談に関しては、迅速に対応できるよう努めて参ります。利用回数の増減に関しては、お1人様お1人様へより良い支援ができるよう曜日の設定等でお時間を頂戴している場合もあります。ご理解いただくと幸いです。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			○	定期的な会報等は現在実施していません。日々の活動記録として連絡帳でお伝えさせていただいたり、予定などは必要時に発信、連絡体制はHUGアプリを活用させて頂いています。今後については検討させて頂きたいと思っております。

非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠できるキャビネットを使用し、常時数名の職員が在中しており持ち出しできないよう保管されています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	視覚支援等を用いて支援を実施しています。また、連絡帳では、活動写真も数枚入れ、写真を見るだけでお子様の様子等が分かりやすく伝わるよう心がけています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	開設1年目との事もあり地域住民の方を招待する行事等は実施していません。相談支援事業所の方々を招待し実施した経緯はあります。今後、検討していきたいと思います。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			○	マニュアルは作成し事業所内では周知していますが、保護者様への周知はしていない為今後検討していきたいと思ます。契約時に対応等については簡単に説明させて頂いています。また訓練については現段階では未実施です。今後計画し実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練を年2回実施し、消防署の方より助言を頂きます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			事前アセスメントにて必ず確認するようにしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			事前アセスメントにて必ず確認するようにしています。食べ物だけではなく配慮すべきアレルギーに関し把握し支援していきます。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			これまでヒヤリとした事を報告書へまとめ、ヒヤリハットの事例集を作成し共有しています。また消費者庁からでている事故防止ハンドブック等を確認し、もしもの時のポイントを参考に注意し支援しています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			外部・内部研修を実施しています。また、随時、意識するよう朝のミーティング時に声掛けを実施しています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			○	身体拘束を行う利用者様は現段階まで該当する方はいませんでした。必要時には計画書に落とし込み、保護者様への説明、了承を得る必要があるかと思います。また実施した際には記録として残しておきます。	